

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第151号 R8. 3. 12

令和7年度 学校運営協議会（開校準備委員会）を振り返る — 地域とともにある学校をつくる —

今年度、最後の学校運営協議会（開校準備委員会）が、東地区は3月6日、西地区は3月4日に開催されました。委員の皆様方には、夜間や休日のお忙しい時間に会議にご出席いただき、それぞれのお立場からの貴重なご意見等をいただきまして、ありがとうございます。また、今年度末でご退任される委員の方々には、事務局一同心より重ねて御礼を申し上げます。

令和8年度からは、所・園も一体となった「所園学校運営協議会」としてスタートします。所園学校、地域、保護者、行政のみなんで責任をもって、「豊能町に誇りを持ち、自信をもって社会を生き抜く子ども」を育てることをめざしていきます。

<東地区 委員さんの声>

- 地域の方が本当に学校を大切に思っていることが分かる場所でした。子どもたちが成長し、楽しく学校生活を送れるよう、これからもサポーターとして関わり続けたいと思います。
- 4年間関わり続けてきましたが、子どもたちが地域のことを考える姿を見ると、自分たちも何かできないかという熱い気持ちになります。これがコミュニティスクールの形なのだと思います。



東地区（東能勢中学校にて）

<西地区 委員さんの声>

- 関わることを通じて、児童・生徒からも名前と呼ばれることが増えました。豊能町にかえてきたいと思ってくれる子が増えてほしいと思っています。
- こんなにも子ども達のことを考えてくださる、本当に、いい地域だなと感じました。
- たくさんの方に支えていただいたおかげで、学校があるというをよく知ることができました。



西地区（西公民館にて）

「わくわく・どきどきSDGsジュニアフォーラム2025」動画公開のお知らせ

「豊能の風第150号」で金賞の受賞をお伝えした、東能勢小中学校8年生のプレゼンテーションを含んだ、当日の様子が大阪府のホームページに公開されています。掲載の二次元コードを読み込むか、「わくわく・どきどきSDGsジュニアフォーラム2025」で検索して、ぜひご覧ください。



さよなら！吉中感謝祭 Final Memories

豊能町立吉川中学校 閉校記念イベント

吉川中学校の閉校イベントが開催されます。

生徒会主催の楽しいイベントが、たくさん企画されています。

吉川中学校最後のイベントです。ぜひご参加ください！

■日 時：令和8年3月21日（土）9時～12時

■場 所：豊能町立光風台小学校 体育館

■内 容：つなぐ言葉 ひらく未来（みんなの想いを書いて新しい学校に展示する作品をつくろう！）
吉中のメモリーズ（吉川中学校の歴史年表）
思い出せ あの瞬間（顔出しパネル写真）
あなたがいるかも！？卒アル展示（初公開!!歴代卒業アルバム） 他

■お願い：上履きをご持参ください。



豊能町教職員研修 —チーム担任制のはじめ方—

「チーム担任制」とは、学級担任が中心となって児童生徒を見ていくのではなく、全教職員で全体の子どもをみつめる仕組みをつくることです。令和8年4月に開校するとよの東学園は1～4年生で、とよの西学園は5～7年生で「チーム担任制」を導入します。



そこで、京都市教育委員会首席指導主事三浦清孝様を講師にお迎えし研修会を開きました。チーム担任制に正解はありません。答えをもっているのは、目の前にいる子どもたちです。初めに講師の先生のご講義から、「これまでに培われてきたそれぞれの経験を活かしながら『クラス』という枠の中で、担任が1人で子どもをみるのではなく、先生たちがそれぞれの手を広げて、みんなでみていく」というイメージを共有しました。

次に、小学校・中学校の先生方で小さなグループをつくり、チーム担任制への不安や期待を出し合いました。その後チームごとに出された意見を全体で共有し、さらに考えを深めました。研修を通じて、「チーム担任制は教員一人ひとりの力を開き、共有し、重ね合うこと」「子どもを真ん中にした情報共有と合意形成であること」を学ぶことができました。

さあ、いよいよスタートです。

